



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!

『それでも、「木密」に住み続けたい! 路地裏で安全に暮らすための防災まちづくりの極意 後藤治・関澤愛・三浦卓也・村上正浩 著(彰国社)』



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



木造建築物が所狭しとたたずむ風景に出会うと、つつい散策心がうすくひとも少なくないでしょう。歴史的な町屋が続くまちなみや、古民家が並ぶ路地裏、昭和の風情が残る飲み屋街など、これらも日本を象徴する景色のひとつです。

しかし、このような木造密集市街地、略して「木密」はその特徴から様々な問題を抱えています。そのひとつに、ひとたび火災等が発生すると被害が広がりやすい危険地帯であることがあげられます。木密が、排除すべき災害発生源と認識されてしまえば、その魅力的な風景は失われていく一方です。

本書ではこのような防災問題を軸に、木密のあるまちづくりをハードとソフト双方から見直し、対策を提案しています。また木密に住み続けたい人に限らず、木密が好きな人々に広く読まれるように考慮されていて、非常にわかりやすく表現されています。木密の保存、存続を願うすべての方々の参考になるでしょう。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

館林市 都市計画課 柴田 佳緯



柴田 佳緯さん(一番左)



講座の様子

私は平成26年度の「パートナーネットワーク講座」を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただきました。

ファシリテーターって何?というところからのスタートだった私は、右も左も分からず不安なまま1日目の講座に参加しましたが、講座の中では大下先生はじめアシスタントの方や事務局の皆様のおかげで終始和やかな雰囲気を受講することができ、終わってみればあっという間の6日間となりました。

はじめは緊張していた参加者たちも、一日中議論や無駄話をする中で次第に打ち解けていき、最後には強い絆で結ばれた仲間になれていたかなと感じます。

さて、受講後の私とはいうと、職場に戻りまちづくりに関する計画の策定を進めるなかでワークショップを開催し、未熟なファシリテーターとして奮闘しています。経験した方は分かると思いますが、声の大きい方から小さい方まで全員の意見を引き出すことはとても難しく、そこに一生懸命になりすぎて時間配分がうまくいかない始末……。大下先生ヘルプミー。なにとはもあれ、ファシリテーターのスキルアップのためには経験を積み重ねることしかないと思っていますので、今後も積極的に取り組んでいきたいです。

最後に、本講座を受講させていただいたことによりファシリテーターとしての技術はもちろん、多くの仲間ができたことで自分自身の幅も広がったと感じています。とても充実した6日間でした。まだ受講されていない方、オススメです!

マーチィの掲示板

潜入しました!『女性が暮らしやすいまちづくり』

この冬の大雪が残る1月21日(木)、前橋プラザ元気21で『平成27年度 まちづくり行政担当者ミーティング』が開催され、まっちい~ズのメンバーが潜入しました。講師は立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授の萩原 なつ子先生。〈女性が暮らしやすいまちづくりー消滅可能性都市から持続発展都市へ〉をテーマに先生が講演。東京都豊島区が23区で唯一『消滅可能性都市』に指定されたこと。その対応策として『女性にやさしいまちづくり』を掲げ、『としまF1会議』を設置したこと。性別に関係なく女性的資質で物事を感じ、実践することで誰にもやさしいまちづくりをしていくことの大切さがわかりました。後半は先生ご指導の元、『ワールド・カフェ』という形式のワークショップが行われました。4人ずつのグループを作り、A4用紙の9マス自己紹介から始まり、課題の話し合い→1人だけグループに残って他の3名は席を移動し、別々に新しいグループをつくる→1人残ったグループの人から課題の説明を聞き、解決策の話し合い→最初のグループに全員が戻って、明日からできる魅力ある群馬のための取り組みについて話し合い・・・と活発に意見を出し合いました。2時間のプログラムで、先生の講演とワールド・カフェというのは盛り沢山な内容でしたが、まちづくりに取り組む皆さんと充実した時間を過ごしました。

